

Press Release

保健福祉部生きがい推進局
子育て支援課



愛知県イメージアップキャラクターみきやん

「あなたもみきやんと

オレンジ・パープルWリボンを！」

オレンジリボン 児童虐待防止シンボルマーク

パープルリボン 女性に対する暴力をなくす運動
シンボルマーク

平成29年度の県内における児童虐待相談対応及び 被措置児童等虐待の状況について

平成30年7月12日

平成29年度の県内における児童虐待相談対応の状況等について、次のとおり取りまとめたので、お知らせします。

- 1 県内児童相談所における児童虐待相談対応の状況（別紙1）
- 2 県内市町における児童虐待相談対応の状況（別紙2）
- 3 被措置児童等虐待の状況（別紙3）

保健福祉部生きがい推進局

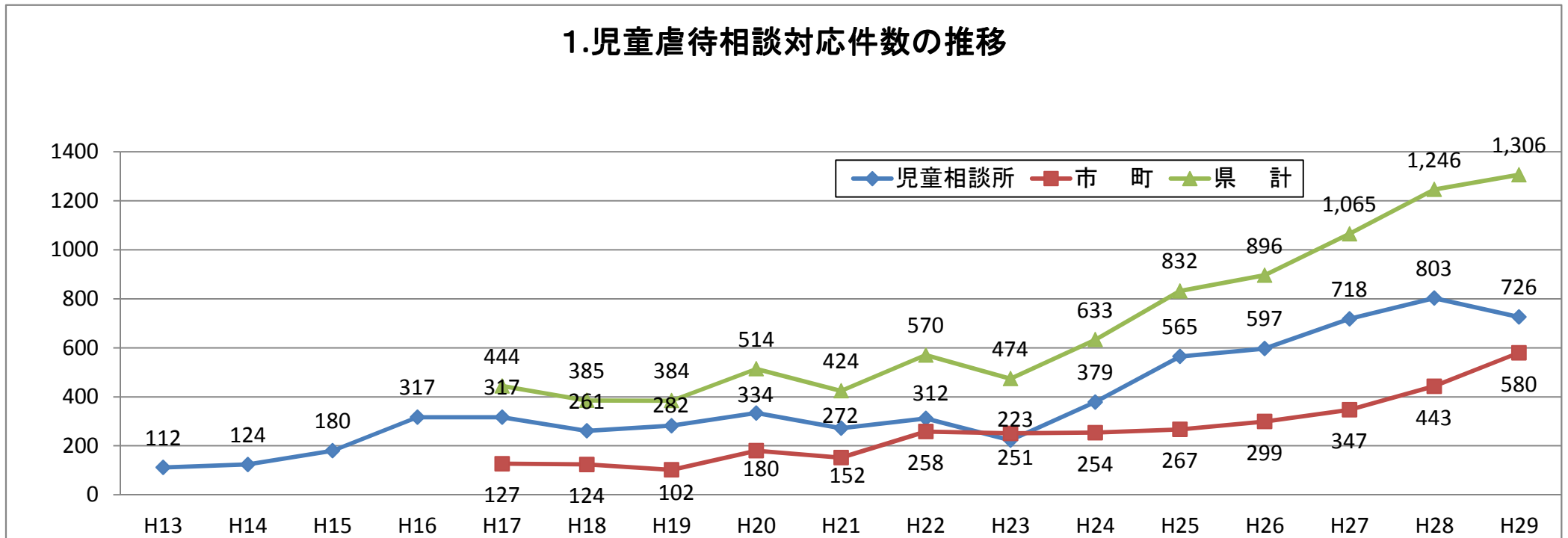
子育て支援課 担当：宮崎（内線 3674）

TEL 089-912-2414 FAX 089-912-2409

児童虐待相談対応の状況(愛媛県)

- 平成29年度における県内3か所の児童相談所の児童虐待相談対応件数は726件。昨年度の803件から77件減少(9.6%)。
- 心理的虐待が減少。その要因の一つとして児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力がある事案(面前DV)に係る通告が減少。
- 市町が単独で対応した件数を含めた県全体の件数は1,306件。昨年度の1,246件から60件増加(4.8%)し、過去最多を記録。

1.児童虐待相談対応件数の推移



年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
児童相談所	112	124	180	317	317	261	282	334	272	312	223	379	565	597	718	803	726
市町					127	124	102	180	152	258	251	254	267	299	347	443	580
県計					444	385	384	514	424	570	474	633	832	896	1,065	1,246	1,306

全国	23,274	23,738	26,569	33,408	34,472	37,323	40,639	42,664	44,211	56,384	59,919	66,701	73,802	88,931	103,286	122,575	H30.8月 公表予定
----	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	----------------

※1. 児童福祉法の改正により、平成17年度から住民に身近な窓口として市町も児童家庭相談の対応窓口として位置づけられた。

※2. 平成22年度の数値は東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値

2. 児童相談所別の相談件数

	福祉総合支援センター	東予子ども・女性支援センター	南予子ども・女性支援センター	合 計
平成24年度	241 (63.6%)	97 (25.6%)	41 (10.8%)	379 (100.0%)
平成25年度	414 (73.3%)	99 (17.5%)	52 (9.2%)	565 (100.0%)
平成26年度	471 (78.9%)	83 (13.9%)	43 (7.2%)	597 (100.0%)
平成27年度	522 (72.7%)	146 (20.3%)	50 (7.0%)	718 (100.0%)
平成28年度	516 (64.3%)	234 (29.1%)	53 (6.6%)	803 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	423 (58.3%) (▲93) (▲6.0p)	229 (31.5%) (▲5) (+2.4p)	74 (10.2%) (+21) (+3.6p)	726 (100.0%) (▲77)

3. 児童相談所での相談内容別件数

【児童虐待の種別】

身体的虐待	殴る。蹴る。投げ落とす。激しく揺さぶる。火傷を負わせる。溺れされる。首を絞める。縄などにより一室に拘束する。など
ネグレクト	家に閉じ込める。食事を与えない。ひどく不潔にする。自動車の中に放置する。重い病気になっても病院に連れて行かない。など
性的虐待	子どもへの性的行為。性的行為を見せる。性器を触る又は触らせる。ポルノグラフィの被写体にする。など
心理的虐待	言葉による脅し。無視。兄弟間での差別的扱い。子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV)。など

【相談内容別件数の推移】

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	合 計
平成24年度	143 (37.7%)	92 (24.3%)	11 (2.9%)	133 (35.1%)	379 (100.0%)
平成25年度	171 (30.3%)	85 (15.0%)	8 (1.4%)	301 (53.3%)	565 (100.0%)
平成26年度	190 (31.8%)	128 (21.4%)	9 (1.5%)	270 (45.2%)	597 (100.0%)
平成27年度	188 (26.2%)	158 (22.0%)	14 (1.9%)	358 (49.9%)	718 (100.0%)
平成28年度	231 (28.8%)	142 (17.7%)	6 (0.7%)	424 (52.8%)	803 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	216 (29.8%) (▲15) (+1.0p)	150 (20.7%) (+8) (+3.0p)	7 (1.0%) (+1) (+0.3p)	353 (48.6%) (▲71) (▲4.2p)	726 (100.0%) (▲77)

4. 相談経路別件数

	家族	親戚	近隣・ 知人	児童本人	福祉 事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉 施設等	警察等	学校等	その他	合 計
平成24年度	38 (10.0%)	9 (2.4%)	109 (28.8%)	5 (1.3%)	30 (7.9%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	18 (4.7%)	4 (1.1%)	91 (24.0%)	25 (6.6%)	48 (12.7%)	379 (100.0%)
平成25年度	46 (8.1%)	10 (1.8%)	86 (15.2%)	2 (0.4%)	21 (3.7%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	13 (2.3%)	7 (1.2%)	294 (52.0%)	43 (7.6%)	40 (7.1%)	565 (100.0%)
平成26年度	40 (6.7%)	37 (6.2%)	133 (22.3%)	4 (0.7%)	27 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (2.5%)	1 (0.2%)	250 (41.9%)	41 (6.9%)	49 (8.2%)	597 (100.0%)
平成27年度	49 (6.8%)	15 (2.1%)	136 (18.9%)	5 (0.7%)	46 (6.4%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	31 (4.3%)	2 (0.3%)	336 (46.8%)	41 (5.7%)	55 (7.7%)	718 (100.0%)
平成28年度	54 (6.7%)	5 (0.6%)	174 (21.7%)	1 (0.1%)	70 (8.7%)	6 (0.7%)	0 (0.0%)	19 (2.4%)	6 (0.7%)	390 (48.6%)	46 (5.7%)	32 (4.0%)	803 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	33 (4.5%) (▲21)	13 (1.8%) (+8)	127 (17.5%) (▲47)	3 (0.4%) (+2)	57 (7.9%) (▲13)	5 (0.7%) (▲1)	0 (0.0%) (0)	25 (3.4%) (+6)	6 (0.8%) (0)	331 (45.6%) (▲59)	55 (7.6%) (+9)	71 (9.8%) (+39)	726 (100.0%) (▲77)

5. 被虐待児の年齢別件数

	0～2歳	3～5歳 (学齢前)	0～5歳計	6～12歳 (小学生)	13～15歳 (中学生)	16～18歳 (高校生等)	合 計
	平成24年度	90 (23.7%)	88 (23.2%)	178 (47.0%)	125 (33.0%)	58 (15.3%)	18 (4.7%)
平成25年度	122 (21.6%)	149 (26.4%)	271 (48.0%)	182 (32.2%)	86 (15.2%)	26 (4.6%)	565 (100.0%)
平成26年度	145 (24.3%)	175 (29.3%)	320 (53.6%)	196 (32.8%)	49 (8.2%)	32 (5.4%)	597 (100.0%)
平成27年度	149 (20.8%)	162 (22.6%)	311 (43.3%)	258 (35.9%)	102 (14.2%)	47 (6.5%)	718 (100.0%)
平成28年度	174 (21.7%)	156 (19.4%)	330 (41.1%)	341 (42.5%)	96 (12.0%)	36 (4.5%)	803 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	162 (22.3%) (▲12)	134 (18.5%) (▲22)	296 (40.8%) (▲34)	291 (40.1%) (▲50)	101 (13.9%) (+5)	38 (5.2%) (+2)	726 (100.0%) (▲77)

6. 主な虐待者

	実父	義父	実母	義母	その他	合計
平成24年度	117 (30.9%)	30 (7.9%)	221 (58.3%)	0 (0.0%)	11 (2.9%)	379 (100.0%)
平成25年度	225 (39.8%)	54 (9.6%)	249 (44.1%)	7 (1.2%)	30 (5.3%)	565 (100.0%)
平成26年度	212 (35.5%)	35 (5.9%)	329 (55.1%)	6 (1.0%)	15 (2.5%)	597 (100.0%)
平成27年度	289 (40.3%)	42 (5.8%)	369 (51.4%)	4 (0.6%)	14 (1.9%)	718 (100.0%)
平成28年度	290 (36.1%)	79 (9.8%)	398 (49.6%)	7 (0.9%)	29 (3.6%)	803 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	262 (36.1%) (▲28)	50 (6.9%) (▲29)	367 (50.6%) (▲31)	1 (0.1%) (▲6)	46 (6.3%) (+17)	726 (100.0%) (▲77)

7. 対応状況

	施設等 入所措置	継続指導	その他	合計	一時保護 (委託含む)
平成24年度	51 (13.5%)	290 (76.5%)	38 (10.0%)	379 (100.0%)	100 (26.4%)
平成25年度	22 (3.9%)	486 (86.0%)	57 (10.1%)	565 (100.0%)	84 (14.9%)
平成26年度	57 (9.5%)	501 (83.9%)	39 (6.5%)	597 (100.0%)	115 (19.3%)
平成27年度	40 (5.6%)	642 (89.4%)	36 (5.0%)	718 (100.0%)	84 (11.7%)
平成28年度	36 (4.5%)	758 (94.4%)	9 (1.1%)	803 (100.0%)	115 (14.3%)
平成29年度 (28⇒29増減)	25 (3.4%) (▲11)	685 (94.4%) (▲73)	16 (2.2%) (+7)	726 (100.0%) (▲77)	138 (19.0%) (+23)

県内市町における児童虐待相談対応の状況

1. 平成29年度市町児童虐待相談受付対応状況

	松山市	今治市	宇和島市	八幡浜市	新居浜市	西条市	大洲市	伊予市	四国中央市	西予市	東温市	上島市	久万高原町	松前町	砥部町	内子町	伊方町	鬼北町	松野町	愛南町	合計	
児童虐待相談	433	89	44	35	73	36	23	130	21	26	14	1	1	6	2	4	0	0	0	6	944	
相談経路	児童相談所	15	8	11	0	3	12	7	8	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
	児童相談所以外	418	81	33	35	70	24	16	122	20	26	9	1	1	6	2	4	0	0	0	6	874
市町単独対応件数	418	38	5	15	15	15	7	44	0	8	6	0	1	2	1	4	0	0	0	1	580	
(参考)	平成28年度	343	14	0	15	19	15	9	0	2	4	9	0	1	2	1	8	0	0	0	1	443
	平成27年度	259	7	0	21	22	6	4	0	1	2	12	3	2	2	0	2	1	0	0	3	347
	平成26年度	199	10	0	22	13	9	7	16	5	1	8	0	0	2	2	3	0	0	0	2	299
	平成25年度	121	23	2	21	38	1	13	37	3	0	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	267
	平成24年度	90	25	1	21	37	0	13	34	22	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	254

2. 児童相談所管内別の相談件数

	福祉総合支援センター	東予子ども・女性支援センター	南予子ども・女性支援センター	合計
平成24年度	190 (74.8%)	59 (23.2%)	5 (2.0%)	254 (100.0%)
平成25年度	223 (83.5%)	42 (15.7%)	2 (0.7%)	267 (100.0%)
平成26年度	269 (90.0%)	27 (9.0%)	3 (1.0%)	299 (100.0%)
平成27年度	313 (90.2%)	29 (8.4%)	5 (1.4%)	347 (100.0%)
平成28年度	402 (90.2%)	36 (8.4%)	5 (1.4%)	443 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	536 (92.4%) (+134)	30 (5.2%) (▲6)	14 (2.4%) (+9)	580 (100.0%) (+137)

3. 内容別の相談件数

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	合計
平成24年度	60 (23.6%)	121 (47.6%)	0 (0.0%)	73 (28.7%)	254 (100.0%)
平成25年度	49 (18.4%)	99 (37.1%)	0 (0.0%)	119 (44.6%)	267 (100.0%)
平成26年度	94 (31.4%)	118 (39.5%)	1 (0.3%)	86 (28.8%)	299 (100.0%)
平成27年度	88 (25.4%)	112 (32.3%)	1 (0.3%)	146 (42.1%)	347 (100.0%)
平成28年度	109 (24.6%)	157 (35.4%)	1 (0.2%)	176 (39.7%)	443 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	169 (29.1%) (+60)	137 (23.6%) (▲20)	1 (0.2%) (±0)	273 (47.1%) (+97)	580 (100.0%) (+137)

4. 被虐待児童の年齢別件数

	0～2歳	3～5歳(学齢前)	0～5歳計	6～12歳(小学生)	13～15歳(中学生)	16～18歳(高校生等)	合計
平成24年度	60 (23.6%)	88 (34.6%)	148 (58.3%)	78 (30.7%)	17 (6.7%)	11 (4.3%)	254 (100.0%)
平成25年度	74 (27.7%)	100 (37.5%)	174 (65.2%)	72 (27.0%)	17 (6.4%)	4 (1.5%)	267 (100.0%)
平成26年度	80 (26.8%)	90 (30.1%)	170 (56.9%)	102 (34.1%)	20 (6.7%)	7 (2.3%)	299 (100.0%)
平成27年度	86 (24.8%)	107 (30.8%)	193 (55.6%)	116 (33.4%)	27 (7.8%)	11 (3.2%)	347 (100.0%)
平成28年度	108 (24.4%)	99 (22.3%)	207 (46.7%)	178 (40.2%)	45 (10.2%)	13 (2.9%)	443 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	133 (22.9%) (+25)	127 (21.9%) (+28)	260 (44.8%) (+53)	222 (38.3%) (+44)	70 (12.1%) (+25)	28 (4.8%) (+15)	580 (100.0%) (+137)

5. 主な虐待者

	実父	義父	実母	義母	その他	合計
平成24年度	46 (18.1%)	4 (1.6%)	199 (78.3%)	0 (0.0%)	5 (2.0%)	254 (100.0%)
平成25年度	50 (18.7%)	5 (1.9%)	197 (73.8%)	1 (0.4%)	14 (5.2%)	267 (100.0%)
平成26年度	58 (19.4%)	11 (3.7%)	204 (68.2%)	4 (1.3%)	22 (7.4%)	299 (100.0%)
平成27年度	64 (18.4%)	25 (7.2%)	235 (67.7%)	12 (3.5%)	11 (3.2%)	347 (100.0%)
平成28年度	91 (20.5%)	26 (5.9%)	284 (64.1%)	2 (0.5%)	40 (9.0%)	443 (100.0%)
平成29年度 (28⇒29増減)	155 (26.7%) (+64)	26 (4.5%) (+0)	368 (63.4%) (+84)	5 (0.9%) (+3)	26 (4.5%) (▲14)	580 (100.0%) (+137)

別紙 3**平成 29 年度被措置児童等虐待（子育て支援課所管分）の状況について**

児童福祉法第 33 条の 16 及び同法施行規則第 36 条の 30 の規定に基づき、平成 29 年度の愛媛県における被措置児童等虐待の状況について、次のとおり公表します。

1 虐待案件受理の状況

受理件数			内訳		
新規	継続	計	虐待該当	非該当	調査継続
4 件	件	4 件	3 件	1 件	件

2 被措置児童等虐待の状況**(1) 被害児童等の性別**

男子	女子
名	4 名

(2) 被害児童等の年齢層

乳幼児	小学生	中学生	高校生
1 名	2 名	1 名	名

(3) 虐待の類型

身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト
1 件	1 件	件	1 件

(4) 施設種別

社会的養護関係施設	里親等	一時保護施設等
3 件	件	件

(5) 加害者の職種

施設職員	里親等	一時保護所職員
3 件	件	件

(6) 県が講じた措置

口頭による指導	件
文書による指導（再発防止のための報告書類の提出）	3 件
事業の停止	件

児童福祉法

第 36 条の 16 都道府県知事は、毎年度、被措置児童等虐待の状況、被措置児童等虐待があった場合に講じた措置その他厚生労働省令で定める事項を公表するものとする。

児童福祉法施行規則

第 36 条の 30 法第 36 条の 16 の厚生労働省令で定める事項は、次のとおりとする。

- 1 次に掲げる被措置児童等虐待があった施設等の区分に応じ、それぞれに定める施設等の種類
 - イ 小規模住居型児童養育事業及び里親 里親等
 - ロ 乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設及び児童自立支援施設 社会的養護関係施設
 - ハ 知的障害児入所施設等及び指定発達支援医療機関 障害児施設等
- 二 法第 12 条の 4 に規定する児童を一時保護する施設又は法第 33 条第 1 若しくは第 2 項の委託を受けて一時保護を行う者 一時保護施設等
- 2 被措置児童等虐待を行った施設職員等の種類